

かいほつ

70号

題字 梅園小学校
6年 織田 帆乃実

岡崎市現職研修委員会
特別支援教育部会
平成26年2月7日発行

▶ 朝のダンスチャレンジ

(愛宕小)



「特別支援学級の担任を一番最初に決めなさいよ」
元部長・鈴木忍先生に教えていただいたこと

翔南中学校長

加藤 政幸

「教頭さん、私は学校中で一番先に特殊学級の担任を決めるから」平成十六年三月、新教頭として赴任する予定の矢作中学校、鈴木忍校長先生に最初にご挨拶に出向いたときに言われた一言です。

それから約十年。「特殊教育」は「特別支援教育」に変わり、私は、四月に赴任した翔南中学校で、地域の役員をしてみえる忍先生に、現職研修委員会の特別支援教育部長を拝命したことを報告しました。

「それはいい。本当に良い勉強ができるから」と笑顔で喜んでくださいました。そして、これからも多くのことを教えていただくと思っていただけました。そして、忍先生を見送ることになってしまったのは本当に残念です。でも、教えていただいたことをこれから生かしていくことで、忍先生のご恩に報いたいと思っています。

「特別支援学級をどう運営していくかに、校長の学校経営の理念と信念が現れてくる」先に述べた担任の決定についてもそうですが、特別支援学級を大切にしていくことで、児童生徒に温かい学校経営ができるということも教えていただきました。

先日、本校の特別支援学級の教室で、何気なく「このクラスって何人いるんだっけ？」と質問した私にA君は躊躇なく答えました。

「K先生とO先生と僕らで八人」なかなかこうは答えられません。

そういえば「特別支援学級こそ、学級経営という考えを大切に先生と生徒と一緒に学級をつくっていく意識が大切」ということも教えていただきました。そして、そういう学級は、学校中のみんなから愛され、応援してもらえるのです。

教えていただいたことばかりでは叱られそうです。私の信念でもあるのですが、教員は教科指導のプロである前に、人間関係のプロでありたいと思っています。それが、学校中から愛され、支援してもらえる特別支援学級に育てていく秘訣であると思っています。

今年も『チーム特別支援教育・岡崎』みんなで頑張っていきましょう。



▲楽しくダンスをしたよ

十二月十七日は、南・福岡・翔南ブロックの交流会でした。はじめに、自己しようかいと各学校の出し物をやりました。私は、自己しようかいができてうれしかったです。次に、幸田先生がダンスを教えてくださいました。「シングルベル」のダンスが楽しかったです。最後にサンタさんが来て、みんなにプレゼントをくれました。私はプレゼントをもらってわくわくしました。家に帰ってみんなに話したくなりました。

子どもと親の集い ブロック交流会

南・福岡・翔南ブロック
福岡小 六年 鈴木 千奈



▲甲山ブロック交流会プログラム

はじめてのこうりゅうかい
甲山ブロック

根石小 一年 谷口 心海

十二月十八日にこう山中学こうで、こうりゅうかいがありました。うめぞの小学こうの子とあそべうれしかったです。わたしは、ダンスがすきなので、「ゆめおどる」をおどれてうれしかったです。中学こうの子とはじめてあそびました。おんなの子もいてうれしかったです。おたまに玉を入れておとさないようにはこびました。わたしはおとしませんでした。うれしかったです。つぎの人にタッチできてよかったです。

三年間のなかよし交流会

葵・城北ブロック

城北中 三年 伊奈 明日香

私は三年間なかよし交流会に参加できてよかったです。今年も、岡崎ライオンズクラブの人にも参加していただき、大勢の人たちが集まりました。はじめの自己紹介では、私たちの学校は、英語で名前や部活名を言いました。とても緊張しましたが、練習通りに言えました。

一番楽しみなのは「なかよし横丁」です。学校ごとにお店屋さんを開きます。私たちは「ころころキャッチ」という、ピンポン玉を台に転がし、コップを使って受け取るゲームをしました。私はピンポン玉を拾う係でも忙しかつたけれど、来てくれた人に喜んでもらえてよかったです。自由時間には、小学校の子たちと鬼ごっこもでき、とても楽しい会になりました。



▲なかよし横丁「ころころキャッチ」

▼各ブロック交流会の内容

北・岩津	グレード家康公「葵」 武将隊招待
新香山・常磐	おやつ作り、奥殿陣屋散策
葵・城北	学校ごとに遊びコーナーの outlet
甲山	地域の特色を生かしたゲーム
美川	ハンドベル演奏、ふれあいゲーム
東海・額田	学校ごとに遊びコーナーの outlet
南・福岡・翔南	各学校の出し物、ジャズダンス
竜海	ウォークラリー、ふれあいゲーム
竜南	クリスマス会、ふれあいゲーム
六ツ美・六ツ美北	学校ごとに遊びコーナーの outlet
矢作	学校ごとの学区の特色を生かしたゲーム
矢作北	学校ごとにゲームコーナーの outlet

ブロック交流会では、各ブロックで特色ある内容が計画・実施されました。今年度は、学校ごとに、「岡崎の心の醸成」に関する内容が盛り込まれたり、地域の特色ある活動が展開されたりしたのが印象的です。天候により、やむなく内容を変更したブロックもありましたが、どのブロックも充実した交流会になりました。子どもたちは、交流会に意欲的に参加して、岡崎に関する活動やふれあいゲームなどを通して、自分が住んでいる地域のことに学んだり、友達と関わったりすることができました。

研究発表会

六ツ美中部小
竜海中

六ツ美っていいな

六中小 教諭 近藤 義孝

平成二十三年度から三年間にわたるESDの研究成果を問う発表会が行われました。特別支援学級の三・四組では、六ツ美のお米に着目し、お米カレンダールの作成、田植えから稲刈り、そして精米にいたるまでを学習してきました。

授業では、六ツ美のお米で、この地方の郷土料理である五平餅や箱ずし(押しずし)を作り、味わうことで、六ツ美のよさを実感してほしいと願いました。

子どもにおもてなしを受けた多くの参観者の笑顔も、子どもたちの心に六ツ美のよさを実感させることができたと感じました。



▲六ツ美押しずしで「おもてなし」を受け、笑顔になる参観者

思いを伝え合おう

竜海中 教諭 安達 佳代

今年度は、「わかる学習指導」第十年次研究の三年次にあたる年でした。「卒業旅行先を決めよう」というテーマで、行き先を北海道にするか、沖縄にするかという討論の準備段階の場を見ていただきました。

ペア学習を中心に学習を進めました。生徒たちは、北海道派と沖縄派に分かれて、それぞれ旅行会社の社員であるという設定をして取り組みました。ガイドブックを見たり、実際に北海道や沖縄へ行ったことがある先生にインタビューをしたりして、おすすめのプランを立てました。

授業で自分が頑張ったことや友達の頑張りを発表する場も設けました。自分の活動だけでなく、友達の頑張る姿もきちんと見ることができたことに生徒たちの成長を感じることができました。

協議会では、参観してくださった先生方から多くのご意見・ご質問をいただきました。また、川原場仁子先生より、「助言・ご指導をいただきました。今後には生かして、日々の実践に還元していこうと思いました。」

学級紹介

矢作東小・六ツ美中

大きくなあれ！野菜たち

矢東小 教諭 石黒 真砂子

矢作東小学校の特別支援学級は、さくら・すみれの二クラスで、七名が在籍しています。毎朝、子どもたちの元気な挨拶が聞こえてきます。

西校舎の前の日当たりのよい花壇の半分で野菜を育てています。夏は、ナス・ミニトマト・ピーマン・シシトウを育てました。夏休みに、収穫した野菜を使って、卒業生と一緒にバーベキュー大会をしました。

冬は、ダイコンとホウレンソウを育てています。六年生の児童は、毎朝登校の際に畑に寄り、「葉が大きくなったよ」などと、野菜の生長を楽しみにしています。二月中旬に、収穫したダイコンを使って、おでんパーティーをする予定です。子どもたちも、とても楽しみにしています。



▲大きくなあれ！ダイコン

一步一步、確かな自信

六ツ美中 教諭 河澄 祥代

一年かけて取り組んだ作業は野菜作りと木工です。

野菜作りでは、昨年からあった畑を自分たちの手で拡大しました。耕うん機やくわなど、初めて使う道具もありましたが、全員が「仲間のために」を意識して活動しました。小学生との芋ほり交流も行いました。

木工では物干し台を作りました。使う人がけがをしないように、かんなを使い、面取りもしました。給食エプロンや台拭きなど、いろいろな物を干すのにとっても役立っています。

「自分が頑張ったことで、誰かが喜んでくれる」「ありがたう」の言葉が聞ける。それは大きな自信になり生徒たちを支えています。その自信を胸にさらに成長できるよう、学校全体で見守っていききたいと思います。



▲大きくなあれ！



卒業を前に親子の思い

できるようになったよ

井田小 六年 成瀬 聖叶

わたしは、おわかれ遠足に行ったとき、はじめて一人できつぷを買うことができました。不安でしたが、買えてうれしかったです。

学校では、そうじの時間、みんなの先頭になってほうきではいたり、ぞうきんがけをしたりしました。

なかよし交流会のどんぐりハウスのお店では、「いらっしやい」と大きな声で言うことができました。

中学校に行ってもたくさんのことのできるようがんばりたいです。

よく頑張りました

井田小 保護者 成瀬 早知子

出生当時、岡崎市で一番小さく産まれた娘。保育園の時は「かわいね」でなんとか乗り越えてきたことが、小学校では全てが戦いだった気がします。特に最高学年として走るマラソン大会。スタート直後に転んで二周以上差がついても涙を流さずに完走することができました。先生方の励ましや友達の声援がなければ、ここまで頑張ることはできなかったと思います。

全力で戦った六年間。卒業を前にした今、残ったのは感謝と笑でした。

挑戦

美川中 三年 窪田 英司

多くの中学校生活には、頑張ったことがたくさんあります。学校では、卓球部を三年間続けました。テコンドーでは、組手や蹴りの練習をして試合に行きました。合宿も楽しかったです。ピアノの発表会ではメヌエットを弾きました。毎日、夜練習をして頑張りました。塾では、先生についてしっかり勉強しました。

体育大会、美中祭の合唱、修学旅行もとても楽しかったです。卒業してもぼくはいろんなことに挑戦します。

あつという間の三年間

美川中 保護者 窪田 裕美

入学当初は、中学生生活をどんなふうに過ごしていけばよいか、どんなところに目標を置けばよいか、とても考えました。学習面、生活面、体力面において立てた目標を達成させていくには、とてもたくさん努力が必要でした。辛かったこともあったと思います。英司らしく、笑顔で本当によく頑張りました。

多方面で支援してくださいました。卒業後も次の目標を立て、自立を目指します。

中学生の卒業後の進路

最近の傾向である特別支援学校以外の選択肢が多くみられます。様々なニーズに対応できるよう、これからも支援を続けていきます。

進路希望先	男	女	計
愛知教育大学 附属特別支援学校	0	0	0
みあい養護学校	13	12	25
豊川養護学校本宮校舎	0	0	0
豊田高等養護学校	4	1	5
半田養護学校桃花校舎	3	2	5
岡崎養護学校	0	1	1
高校(定時制)	2	2	4
高校(全日制)	1	0	1
専修学校	3	6	9
通信制・サポート校	2	2	4
春日台職業訓練校	1	0	1
就職その他	1	1	2
合計	30	27	57

(二月三十一日現在)

今年度の表彰

- 岡崎市読書感想画コンクール
教育委員会賞
矢作西小 野村 諒多
「家庭の日」啓発ポスター
優秀賞 福岡小 近藤 颯来
岡崎市技術・家庭科作品展
技能コンテスト優勝
- 入選
竜南中 山本 千奈
福岡小 加藤 涼貴
竜海中 鶴田 弦希
高橋 栗生 愛美
岩山 紗都子
高橋 みる
- 全国書画展覧会
画の部 銀賞
翔南中 天野 拓海
吉村 彪人
足立 宥斗
平野 諒
- 画の部 銅賞
翔南中 堀田 侑暉
南中 和田 恵実
- 書の部 銅賞
六美中 伊藤 未来
住友生命子ども絵画コンクール
愛知東支社展 佳作
小豆坂小 御手洗 虎斗
- ジュニアチャンピオンサーキット
第四戦 ボウリング大会
優勝 矢作中 太田 照人
優勝 岡崎市ジュニアボウリング大会
優勝 矢作中 太田 照人